

秋田駒ヶ岳の火山活動解説資料

仙台管区气象台
地域火山監視・警報センター

< 噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）が継続 >
秋田駒ヶ岳では、本日（28日）07時から08時にかけて火山性地震を21回観測しました（速報値）。
火山性微動は観測されず、地殻変動には変化はみられません。地震活動も08時以降は収まっており、火山活動に特段の活発化は認められません。
女岳^{めだけ}の山頂付近では、2009年以降地熱域の緩やかな拡大が見られていました。地熱活動が続いていますので今後の火山活動の推移に注意してください。
噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

活動概況

・地震や微動の発生状況（図 1 ~ 2、図 3 - ）

秋田駒ヶ岳では、本日（28日）07時から08時にかけて火山性地震が一時的に増加し、21回観測しましたが、08時以降は収まっています。日別地震回数が10回を超えたのは2016年10月19日（14回）以来です。

震源は、男女岳^{おなめだけ}の北西約1km付近の深さ約2~3kmで、最大規模の地震は07時09分の地震でマグニチュード¹1.1（速報値）でした。

08時以降、火山性地震は観測されていません。また、火山性微動は観測されていません。

秋田駒ヶ岳では、これまでも火山性地震が一時的に増加することがありました。

・噴気など表面現象の状況（図 3 - ）

東北地方整備局が設置している監視カメラによる観測では、噴気などの表面現象は雲のため確認できません。

・地殻変動の状況

火山活動によると考えられる変化は認められていません。

1) マグニチュード (M) は地震の規模を示します。資料中の値は速報値で、後日変更することがあります。

この火山活動解説資料は、仙台管区气象台のホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ (<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国土交通省東北地方整備局、国土地理院、東北大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平26情使、第578号）。

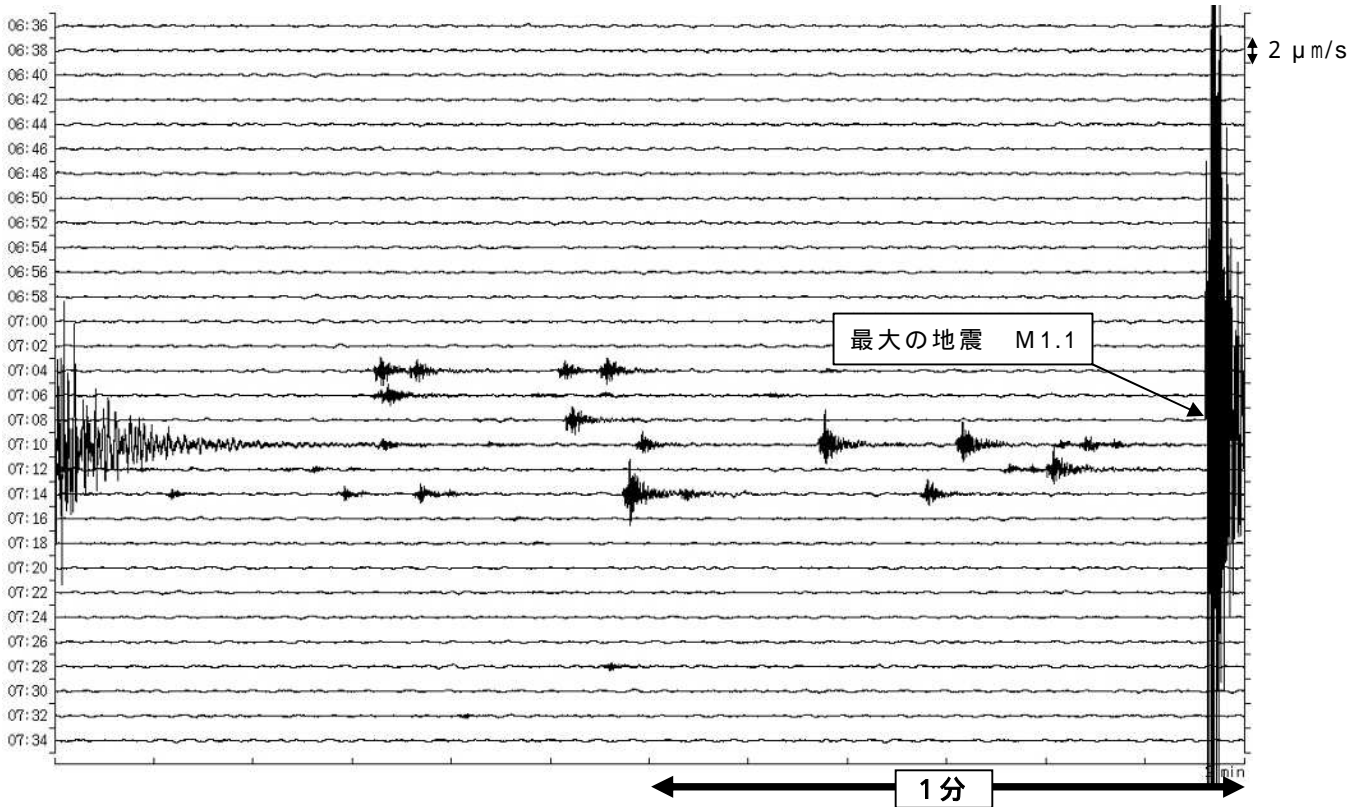
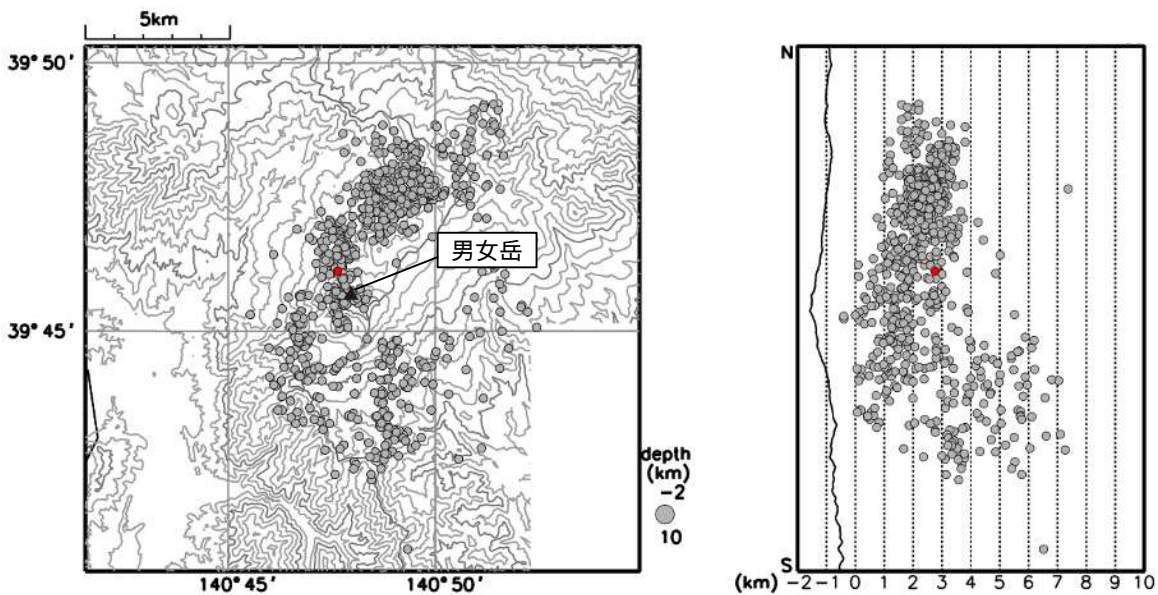


図1 秋田駒ヶ岳 地震の発生状況
 (八合目駐車場 上下動 : 2017 年 5 月 28 日 06 時 36 分 ~ 07 時 35 分)



: 2017 年 5 月 28 日 : 2003 年 8 月 1 日 ~ 2017 年 5 月 27 日

図2 秋田駒ヶ岳 地震活動 (2003 年 8 月 1 日 ~ 2017 年 5 月 28 日 10 時)

- ・男女岳の北西約 1 km 付近で地震活動がみられました。
- 5 月 28 日は最大規模の地震のみ表示しています。

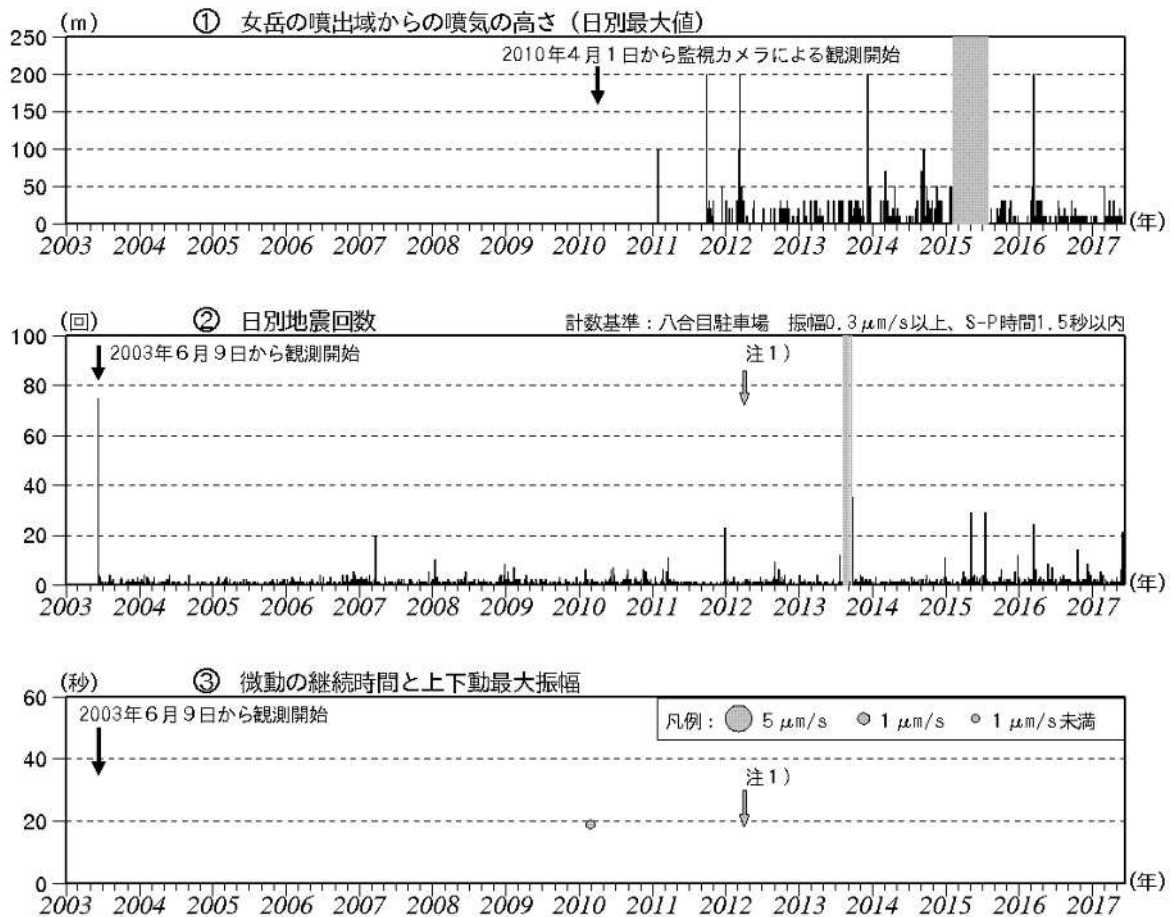


図3 秋田駒ヶ岳 火山活動経過図 (2003年6月~2017年5月28日10時)

- ・ 仙岩峠 (女岳山頂の南約 5 km) に設置されている監視カメラ (東北地方整備局) による観測です。
- ・ 注1) 観測開始の 2003 年 6 月 9 日から東北大学秋田駒ヶ岳観測点を基準としていましたが、2012 年 4 月 1 日から八合目駐車場を基準としています。
- ・ の灰色部分は欠測を表しています。
- ・ 値は速報値を含んでおり、精査後修正する場合があります。

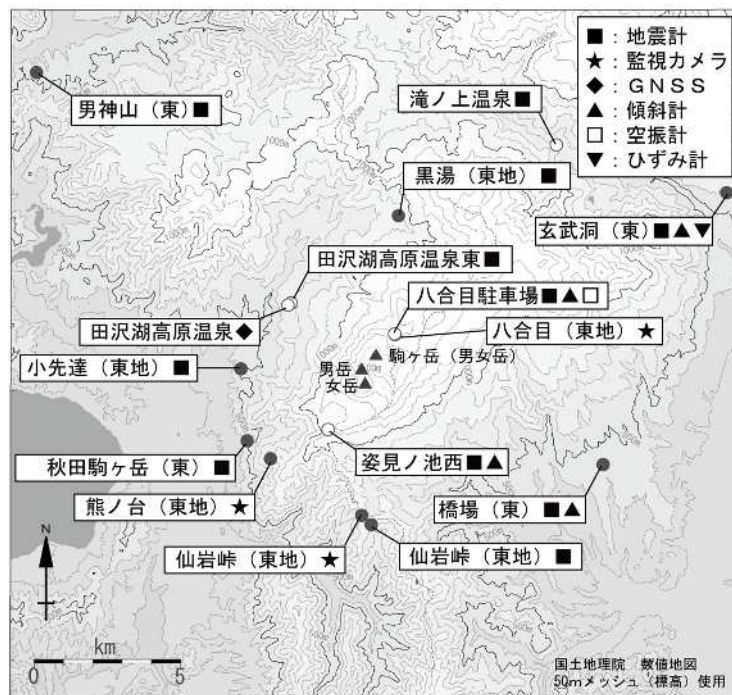


図4 秋田駒ヶ岳 観測点配置図

小さな白丸 () は気象庁、小さな黒丸 () は気象庁以外の機関の観測点の位置を示しています。
(東)：東北大学 (東地)：東北地方整備局